



東京2025ジャマイカ選手団 キャンプ協定締結記念行事

5月30日(木)、鳥取市内において、「2025東京世界陸上事前キャンプに係るジャマイカ陸上競技連盟(JAAA)との協定締結式・レセプション」が開催された。

これまで鳥取県とJAAAは、子どもたちを対象とした陸上セミナー、指導者交流、布勢スプリントへの若手選手招聘など、数々の交流事業を展開してきた。

協定式の席上、ガス・ゲイルJAAA会長は「鳥取を故郷のように感じており、これまで育てきた友情がある。」と話し、浜崎議長(ジャマイカ・鳥取友好議員連盟会長)も「陸上界のスターであるジャマイカ選手団が、2025年に再び鳥取県民を熱狂させ、子どもたちに夢を与えてくれることを期待する。」と応じた。



インド大使の議長訪問

5月31日(金)、シビ・ジョージ駐日インド共和国大使が浜崎議長を表敬訪問した。

ジョージ大使からは、インドと鳥取県との経済関係の強化を前向きに進めるため、①経済・ビジネス・観光・高度人材活用といった内容のセミナーを開催したい。②駐日インド大使館で「とっとりDAY」を開催したい。③鳥取県の経済界の皆さんにインドにお越しいただきたい。④鳥取県議会に「インドとの友好議員連盟」を立ち上げてほしい。などの提案があった。

浜崎議長は、今後も飛躍的な経済発展が見込まれるインドといち早く協力関係を築き、観光誘客や県産品輸出などの経済交流、高度IT人材誘致を進めることの重要性を強調し、駐日インド大使館の協力を要請した。



関西広域連合議会で鳥取県選出議員が活動

関西広域連合では、ドクターヘリの活用等による広域緊急医療体制の充実、相次ぐ自然災害でのカウンターパート方式による迅速な被災地支援など、関西全体の連携による防災力強化に向けて着実に取り組んでいます。このほか令和3年11月に発出した「関西脱炭素社会実現宣言」に基づく温暖化対策など関西一丸となった取組も行っています。また、今後、「2025年大阪・関西万博」、「ワールドマスタースゲームズ2027関西」という世界中から関心が集まる絶好の機会を捉え、官民の力を結集した広域的かつ戦略的な取組を行うこととしています。

関西広域連合議会には、本県議会から坂野議員(鳥取県議会民主とっとり)、内田議員(鳥取県議会自由民主党)が選出され、「関西における鳥取県」の視点で、活発な議会活動を行っています。



関西広域連合議会における主な質問事項



坂野 経三郎 議員

- ドクターヘリについて
- 若者の政治参画について
(令和6年3月定例会一般質問)



内田 博長 議員

- 自治体立病院のあり方について
- 総合診療医の養成について
(令和5年11月臨時会一般質問)